



## 平成20年度「アジア人財資金構想」高度専門留學生育成事業の採択について

### 概要

経済産業省及び文部科学省で平成19年度から実施している「アジア人財資金構想」のうち、高度専門留學生育成事業について平成20年度の公募に申請し、九州地域においては、九州大学の「エネルギー・環境技術人財育成パートナーシッププログラム」が新規採択されました。（全国で9件のコンソーシアムが採択）

### 背景

近年、我が国企業のアジア等を中心とした海外事業展開の加速に伴い、日本とアジア等の架け橋となる高度海外人材の育成が重要となってきています。また、世界的に高度人材の国際移動が拡大する中、国際的な知的ネットワークの形成等による国際競争力の強化が重要となってきています。

経済産業省及び文部科学省では、我が国企業に就職意志のある、能力・意欲の高いアジア等の留學生に対し、産学連携による専門教育やビジネス日本語教育・日本ビジネス教育、インターンシップ、日系企業への就職活動までの一貫した事業を通じ、産業界で活躍する高度外国人材の育成を促進する『アジア人財資金構想』を平成19年度から開始しています。

### 内容

九州大学が採択された「エネルギー・環境技術人財育成パートナーシッププログラム」とは、クールアース推進構想の重要性を踏まえ、専攻分野だけでなくエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材を育成します。アジア留學生の受入れから我が国企業への就職まで一貫したプログラムを産学連携により構築・実施することで、我が国企業の国際競争力強化を図ると共に、九州のアジアゲートウェイ機能を高めます。

本プログラム内に創設する特別コース「産業工学プログラム」では、企業が取り組んでいる最先端の技術開発やプロジェクト並びにそのビジネス戦略など産業界に対する視野を拡大させる科目を新規に開設すると共に、既存の留學生向け科目を改編して実践的な能力を育成するため、企業の専門家が参加した設計演習や実験計測もとりいれていきます。

また、留學生が日本独特の企業文化やビジネス慣習に適応し、言葉の壁を乗り越えて業務を遂行できるようにするため、「ビジネス日本語・科学技術日本語演習」や「日本ビジネス研修」の科目を新規に開講すると共に、留學生センターを中心とした日本語教育や異文化適応に関する数多くの講義科目を本プログラムのなかに取り入れていきます。

### 効果

本プログラムの実施により、資源エネルギーの有効活用及び環境技術分野における高度専門留學生を育成し、関連する日本企業、日系企業に正社員として就職させることで、我が国企業・九州企業の国際競争力を高める人材として、国際業務展開を担う人材として、また、企業自体の国際化を内部から進める人材としての活躍が期待されています。ひいては、我が国・九州企業の国際競争力が強化され、一国一地域に止まらない地球的課題であるエネルギー・環境問題の解決、クールアースの推進の一助となることを確信しています。本事業を通して、地方自治体、経済団体とともにアジア人財活用の成功事例を一つ一つ地道に積みあげることで、我が国企業、特に九州企業が優秀なアジア人財を積極的に受け入れる態勢、また、地域社会としてアジア人財を受け入れる態勢が整い、ひいては企業の発展、地域経済の活性化が図れるものと期待しています。

### 今後の展開

4年後には「ものづくり工学教育研究センター」を核に自立を図る予定です。

**【お問い合わせ】**

国際交流部留学生課 小野 亮一

電話：092-642-2141

FAX：092-642-2144

Mail：[intlrkoryu@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:intlrkoryu@jimu.kyushu-u.ac.jp)